

公表

事業所における自己評価総括表

| | | | |
|----------------|----------------------|-----|------------|
| ○事業所名 | 放課後等デイサービスはっぴーone II | | |
| ○保護者評価実施期間 | 7年1月 8日 | | 7年 1月 29日 |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | 28名 | (回答者数) 17名 |
| ○従業者評価実施期間 | 7年 1月 10日 | | 7年 1月27 日 |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) | 9名 | (回答者数) 9名 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 7年 1月 30日 | | |

○ 分析結果

| | 事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|---|----------------------------------|--|
| 1 | 言語聴覚士による、言語訓練を行っている。 | 言語聴覚士が在籍している為、個別や小集団による学習を行っている。 | 語彙力を増やす。 SSTと組み合わせで言葉でのスキルを身につける。ロールプレイを行う。 |
| 2 | 支援プログラムの内容に沿った支援の充実を図っていく。 | 子ども達の将来のため「生きる力」を養う課題に取り組んでいる。 | 家庭、学校と連携を図り情報共有を行い子どもの困り感に寄り添う。 |
| 3 | クッキングやサイエンス実験の取り組みを行っている所であり、今後も更に実践的な体験を計画していく必要性を感じている。 | 買い物体験から調理と子供たちで考え行動する。 | 今までは職員で献立を考えていたが、今後は子供たちに考えてもらう。 |

| | 事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|--|--|--|
| 1 | 平日の自由選択活動が限定されてしまう。 | 園庭がなく、室内活動に限定されてしまう。 | 土曜日などの一日利用の際には園外活動や体育館を予約し、身体を動かしている。 |
| 2 | リトミックやダンスなどの取り組みがない。 | 職員の経験や勉強不足。 | 室内レクリエーションなどで取り組んでいく。 |
| 3 | 地域との交流が難しい面もあるが、地域(町内会)との連携を強化しながら今後模索していく必要があるのではないかと感じる。 | 感染症は予想がつきにくく、拡大の心配がある為、日頃から感染対策(手洗い、うがい)等の徹底を行っている。今後も工夫をしながら、対策を強化していきたい。 | 地域交流委員会の立ち上げの検討。 地域行事への参加の検討。 事業所付近のゴミ拾いなどを行う。 |

公表 保護者等からの事業所評価の集計結果

| 事業所名 | 公表日 R7年2月24日 | | | | | | 回収数 17名 |
|----------------------|-----------------------------|--|--|-----|-------|-----|--------------------------------|
| | | 利用児童数 28名 | | | | | |
| | チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | わからない | ご意見 | ご意見を踏まえた対応 |
| 環境・ 体制 整備 | 1 | こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。 | 12 | 2 | | 3 | 個室の確保が難しいが個別室が出来るように配慮している。 |
| | 2 | 職員の配置数は適切であると思いますか。 | 14 | 1 | | 2 | 適切な配置である。 |
| | 3 | 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。 | 15 | 1 | | 1 | マグネットを使い視覚的に理解しやすいようにしている。 |
| | 4 | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。 | 16 | 1 | | 1 | 毎朝清掃を行い、活動室では空気清浄機を設置して使用している。 |
| 適切な 支援の 提供 | 5 | こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。 | 16 | 1 | | | 保育士や言語聴覚士等の職員が在籍している。 |
| | 6 | 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。 | 15 | 2 | | | |
| | 7 | こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。 | 15 | 2 | | | 保護者様と情報共有を行い、個別支援計画を作成している。 |
| | 8 | 放課後等デイサービス計画は、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。 | 15 | 2 | | | サービス計画に沿った支援に努めている。 |
| | 9 | 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。 | 17 | | | | |
| | 10 | 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。 | 16 | 1 | | | 固定しないように話し合いを行っている。 |
| | 11 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。 | 8 | 2 | | 7 | 系列事業所との交流は行っているが、今後検討していく。 |
| | 12 | 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。 | 16 | 1 | | | |
| | 13 | 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。 | 16 | 1 | | | 面談の際に説明を行っている。 |
| | 14 | 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。 | 13 | 2 | | 2 | 年2回の保護者会を継続していく。 |
| | 15 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。 | 16 | 1 | | | 面談や送迎の際などで話を伺っている。 |
| 保護者 への 説明 等 | 16 | 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。 | 15 | 2 | | | 面談のご希望には迅速に対応している。 |
| | 17 | 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。 | 17 | | | | 今後も保護者様の思いに寄り添った支援を心掛ける。 |
| | 18 | 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。 | 12 | 2 | | 3 | 年2回の保護者会を継続していく。 |
| | 19 | こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。 | 16 | 1 | | | 保護者様に周知、説明の徹底に努めている。 |
| | 20 | こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。 | 17 | | | | 連絡体制を整えていく。 |
| | 21 | 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。 | 13 | 1 | | 3 | 毎月行事予定のお便りを発行している。 |
| | 22 | 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。 | 16 | 1 | | | 個人情報の保護に真摯に努めている。 |
| | 非常 時 等 の 対 応 | 23 | 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。 | 13 | 1 | | 3 |
| 24 | | 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。 | 14 | 1 | | 2 | 毎月避難訓練を実施している。 |
| 25 | | 事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。 | 16 | 1 | | | |
| 26 | | 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。 | 16 | 1 | | | 医療機関との連携がある。 |
| 満足 度 | 27 | こどもは安心感をもって通所していますか。 | 16 | 1 | | | 今後も子どもに安心感を持ってもらえる様に努める。 |
| | 28 | こどもは通所を楽しみにしていますか。 | 14 | 3 | | | 毎回とても楽しみにしています。いつもありがとうございます。 |
| | 29 | 事業所の支援に満足していますか。 | 16 | 1 | | | 今後も満足して頂く支援に努める。 |

公表

事業所における自己評価結果

| 事業所名 | | 放課後等デイサービスはっぴーone II | | | | 公表日 | R7年 2月 24日 |
|---------|--------|--|-----|---------|--|-----------------------------|------------|
| | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点 | | |
| 環境・体制整備 | 1 | 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。 | 9 | | 個別が必要であれば、対応できている。 | | |
| | 2 | 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。 | 9 | | 職員の確保は出来ている。 | | |
| | 3 | 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。 | 9 | | 視覚的に分かりやすい様にイラストや名前札などを用いている。 | | |
| | 4 | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。 | 9 | | 毎朝清掃し、空気清浄機を設置している。 | | |
| | 5 | 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。 | | 9 | 個室の確保が難しい。 | パーテーションやカーテンを使用し、個別室を作っている。 | |
| 業務改善 | 6 | 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。 | 9 | | カンファレンスや会議等で話し合いを設けている。 | | |
| | 7 | 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 9 | | 保護者様向け評価表を全職員で閲覧している。 | | |
| | 8 | 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 8 | 1 | 必要に応じて管理職との面談を設ける。 | | |
| | 9 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。 | | 9 | 現在第三による外部評価を受けておりませんが職員間で問題共有し改善できるように取り組んでいる。 | | |
| | 10 | 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。 | 9 | | 事業所内研修を開催している。 | 外部研修にも積極的に参加していくことも検討していく。 | |
| 適切な支援の提 | 11 | 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。 | 9 | | 事務所の保護者様に目に付く場所に掲示している。 | | |
| | 12 | 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。 | 9 | | こども一人一人に寄り添いカンファレンス会議を行い、カンファレンス記録を作成している。 | | |
| | 13 | 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。 | 9 | | 毎日カンファレンス会議を行い、共通理解に努め検討している。 | | |
| | 14 | 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。 | 9 | | サービス計画の読み合わせを行い、計画に沿った支援に努めている。 | | |
| | 15 | こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。 | 9 | | 事業所独自のアセスメントシートを用いている。 | | |
| | 16 | 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 | 9 | | 放課後等デイサービスガイドラインの内容を踏まえて支援内容の充実を図っている。 | | |
| | 17 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか。 | 9 | | 職員会議で活動プログラムの立案を検討している。 | | |
| | 18 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。 | 9 | | 職員会議で固定化しない様に話し合いを重ねている。 | | |

| | | | | | | |
|--------------|----|--|---|--|--|--|
| 供 | 19 | こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。 | 9 | | カンファレンスを行い、こどもを観察し支援を考えている。 | |
| | 20 | 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。 | 9 | | 毎朝の朝礼で確認している。 | |
| | 21 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。 | 9 | | こどもと関わる送迎や活動中と気になる点は何でも情報共有に努めている。 | |
| | 22 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。 | 9 | | 日々活動の記録を取り、今後の支援に活用している。 | |
| | 23 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。 | 9 | | 定期的にモニタリングを行っている。 | |
| | 24 | 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。 | 9 | | 基本活動を踏まえて事業所独自のプログラムと組み合わせている。 | |
| | 25 | こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。 | 9 | | 自由選択活動において、自己選択の機会がある。 | |
| 関係機関や保護者との連携 | 26 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。 | 9 | | 会議には児童発達支援管理責任者をはじめ子どもの状況をよく理解したものが参画している。 | |
| | 27 | 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。 | 9 | | 地域の協力医療機関と連携している。 | |
| | 28 | 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。 | 9 | | 学校、保護者様との連携を図っている。 | |
| | 29 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。 | 9 | | 系列事業所からの報告を頂いている。 | |
| | 30 | 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。 | 9 | | 事例がない。 | |
| | 31 | 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。 | 9 | | 今後検討していく。 | |
| | 32 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。 | 9 | | 現在地域との交流の機会はないが、今後地域交流委員の立ち上げを検討していく。 | |
| | 33 | （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。 | 9 | | 機会があれば参加を行いたい。 | |
| | 34 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。 | 9 | | 送迎の際や面談の時間を設け、保護者様との共通理解を持っている。 | |
| | 35 | 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。 | 9 | | 年二回の保護者会を開催し、研修の機会を設けている。 | |
| | 36 | 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。 | 9 | | 丁寧な対応を心掛けている。 | |
| | 37 | 放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。 | 9 | | 面談を設け、保護者様の意向に寄り添いサービス提供を作成する。 | |
| | 38 | 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。 | 9 | | 面談の際には丁寧な対応、説明を心掛け同意を得ている。 | |
| | 39 | 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。 | 9 | | 相談には迅速に対応している。 | |

| | | | | | | |
|----------|--|--|---|-----------------------|--|--|
| 保護者への説明等 | 40 | 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。 | 9 | | 今後も保護者会の開催を継続していく。 | |
| | 41 | こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。 | 9 | | 事業所に相談、苦情のポスターを掲示し苦情があった際には、適切に対応し職員で情報共有している。 | |
| | 42 | 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。 | 9 | | お便りを月に一度配布している。 | |
| | 43 | 個人情報の取扱いに十分留意しているか。 | 9 | | 個人情報の保護に真摯に取り組んでいる。 | |
| | 44 | 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。 | 9 | | 配慮に努めている。 | |
| | 45 | 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。 | | 9 | 現在まで地域の方を行事に招待した事はない。今後地域交流委員会の立ち上げを検討していく。 | |
| 非常時等の対応 | 46 | 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。 | 9 | | 各マニュアル作成を行い、各委員会で会議や訓練を行っている。 | |
| | 47 | 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。 | 9 | | 月に一度計画を立て避難訓練を実施している。 | |
| | 48 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。 | 9 | | 保護者様と情報共有を行っている。 | |
| | 49 | 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。 | 9 | | 利用開始時に確認を取っている。医師の診断書の提出は任意である。 | |
| | 50 | 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。 | 9 | | 施設内と利用児童の安全確認点検簿を作成して、記録を取っている。 | |
| | 51 | こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。 | 9 | | 毎月のお便りやメールにて家族には周知している。 | |
| | 52 | ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。 | 9 | | ヒヤリハットは報告書を書き、その後原因、対策を検討している。 | |
| | 53 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。 | 9 | | 委員会を設け、研修を行っている。 | |
| 54 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。 | 9 | | 今後もいかなる場合にも身体拘束は行わない。 | | |